

飼料用米(SGS)調整作業

下関市で飼料用米(SGS)の調整作業をしました。

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 28 年 11 月 15 日 | 下関農林事務所畜産部(西部家保)

平成 28 年 10 月下旬から、飼料用米の粳を粉碎し、サイレージ調整をする作業を行いました。飼料用米のソフトグレインサイレージ(SGS)による飼料化の取組が全国的に進んでいます。下関管内では、昨年度から2組の耕種農家と畜産農家が連携し、飼料用米(SGS)生産の取り組みを県内で初めて行っています。

当日は、収穫後乾燥せずに直接持ち込まれた粳を粉碎し、加水及び乳酸菌を添加したのち、脱気・密封しました。粉碎した飼料用米は約2か月間サイレージ化したのち、早ければ 12 月頃から乳用牛及び肥育牛に給与する予定です。

下関農林事務所畜産部は、今後も SGS 調整技術・体系確立と給与利用拡大を積極的に支援していきます。



調整作業中



脱気・密封後

問合せ先

メール：a171073@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：083-766-1018